

農林水産大臣賞

農事組合法人 庄の夢（熊本県 山鹿市）

農業を核として、地域住民が一体となって農業の発展を中心に様々な世代を超えた取組に積極的に取り組む持続可能な地域づくり

1. 地区の概要

山鹿市庄地区は、県北部の内陸に位置し、八方ヶ岳を源とする上内田川流域（菊池川水系）に美しい田園が広がる水田地帯であり、稲作が盛んであるとともに、菊やイチゴ等の施設園芸作物が栽培されており、多様な品目の農業経営が展開されている。しかし、農家の高齢化、後継者不足も背景に、急速な農家の減少が課題になっていた。

2. 団体の概要

農事組合法人は、地区の農業者が組合員となっており、現在の代表理事は区長を兼任するとともに、自治会の評議員、生産組合長といった多くの役員が同法人の組合員である。このため、地区の文化祭・体育祭等の行事の運営等において重要な役割を担っている。また、地区内のみならず、県や市をはじめとする行政機関、JA、高校、農業大学校と連携し、活動の分野を広げている。

3. 団体の取組み

農作業の作業受委託を幅広く行い、土づくりやPR活動による基幹作物である米のブランド力向上、加工部（女性加工グループ）による加工品開発・販売による収益力の向上等地域の食文化等の継承にも貢献。

関東圏の大手スーパーにおいて新米の店頭試食等を行い、県内外の業者と取引を拡大するとともに、法人のホームページ開設や楽天市場等での販売に加え、収益拡大のため海外へ新たな販路を確保。

地元高校や農業大学校と連携して田植えや稲刈り等の体験学習や研修生の受け入れ等を通して食育活動にも取組み、地域内外に関わらず、地域コミュニティの中心的存在として、幅広く活動を展開。

緑肥として植栽しているクリムソクローバーが開花する田園を背景にお祭り（春の花まつり）を開催し加工部（女性加工グループ）による田舎料理の振る舞いや、加工品を販売し、都市住民との交流を図り、庄地区のファンづくりに積極的に取組み地域活性化に寄与。



地元高校生による稲刈り



加工部による加工品開発



春の花まつりの様子

農林水産大臣賞

ゆめほたる

にーぜろいちろく

まくらざき

夢蛸たぶがわ2016（鹿児島県 枕崎市）

地域住民の自治意識を高め、他地域との交流、教育・文化の振興と活力向上による、ぬくもりにみちた自然豊かな地域づくり

1. 地区の概要

枕崎市田布川地区は、薩摩半島南端の枕崎市北部に位置し、集落中心部を二級河川が流れ、河川に沿うように水田が連なり、集落周辺の丘陵地は区画整理された畑地帯で、その周りを山地が取り囲む自然豊かな地域である。昨今は、高齢化・過疎化が進み、地域の活力低下や農地の荒廃化など多くの課題を抱えている。

2. 団体の概要

地域は自分たちで守っていききたいという地元住民の有志11名で構成され、集落営農組織である「くらたの里田布川」と、買物弱者対策等の生活支援を担う「株式会社輝楽里たぶがわ」の3者が連携して、伝統行事の継承や地域イベント等、様々な企画の実施や農用地保全の共同作業などを通して、地域課題の解消に取り組み、田布川地区の住民の生活を支えている。

3. 団体の取組み

荒廃農地・遊休農地の増加を防ぐために、遊休農地にコスモスなどの景観作物を植栽する活動を実施。また、養蜂農家及び行政の協力を得て、遊休農地を活用した蜜源作物（赤ソバ）の栽培による粗放的な管理に取り組むなど、農地や農村環境の持続的な維持に貢献。

水田部の耕作放棄地ではオーナーを募り、植付け・収穫等に係る管理費の出資を条件に、収穫された米を出資者に渡すなど、水田部一帯の荒廃防止だけではなく、現耕作者の水利管理や病虫害防除の作業軽減、地産地消に繋がる仕組みを構築。

ビオトープを整備し、蛸を復活させ、毎年近隣の小学校による見学や校外授業の場として活用する他、鬼火焚きや、ホタルと音楽が楽しめる夢蛸コンサートを実施し、交流人口の増加、魅力を発信するなど、若者たちの新しいコミュニティづくりを促進。

生活面では、団体メンバーの出資で立ち上げた「株式会社輝楽里たぶがわ」が商店等の生活サービス機能がなくなっていた地区内に購買店舗を設置し、高齢者宅への配達なども含め、買い物弱者へ支援する仕組みを構築。購買店舗は、地域住民のコミュニティーの場としても利用されている。



小学生がビオトープを見学する様子



購買店舗で買い物する様子



鬼火焚きイベント